

蒲生干潟の植物③9

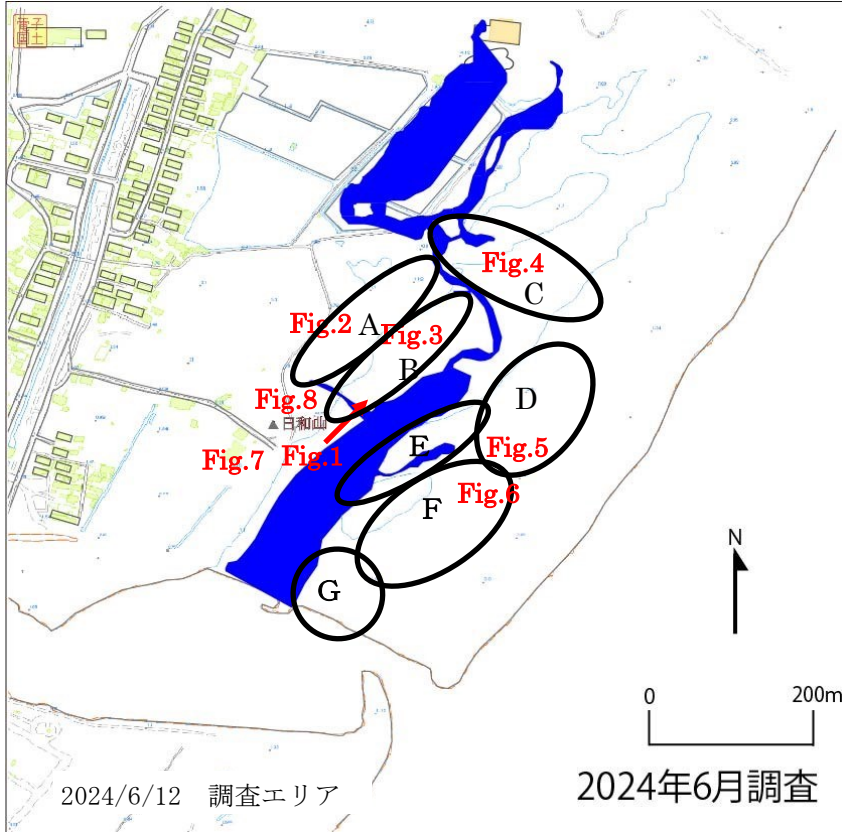
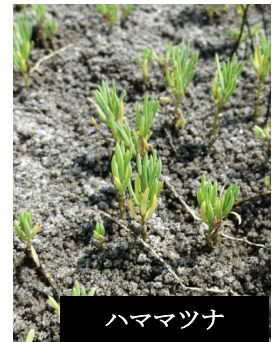


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



ヨシ

Fig.2 エリアAで撮影



ハママツナ

Fig.3 エリアBで撮影



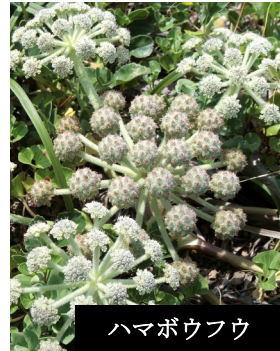
シオクグ

Fig.4 エリアCで撮影



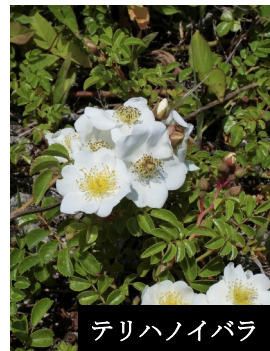
ハマヒルガオ

Fig.5 エリアDで撮影



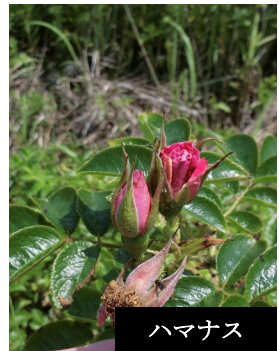
ハマボウフウ

Fig.6 エリアFで撮影



テリハノイバラ

Fig.7 日和山南側で撮影



ハマナス

Fig.8 日和山北側で撮影

調査日時：2024年6月12日（水）9:45～11:00，天気：晴れ

水がかなり少ない時間帯であった。定点観測では、先月よりも一層緑が目立つようになった (Fig. 1)。エリアAのヨシは、順調に生育しており、防潮堤の方から潟湖の方へエリアを拡大しつつある (Fig. 2)。エリアBのハママツナは、大きい個体で5cmほどにまで成長していた (Fig. 3)。エリアCでは、シオクグの果序が確認できた。エリアAのシオクグでは、果序が見られず生育の速さに違いが見られる (Fig. 4)。エリアDでは、ハマヒルガオの花が多数見られたがハマエンドウはほとんど見られなくなった (Fig. 5)。エリアFではハマボウフウの花序が多数確認できた。ここ数年で分布が広がってきているのが分かる (Fig. 6)。日和山の南側の防潮堤から潟湖へ降りていく道の脇にテリハノイバラが咲いているのが確認された (Fig. 7)。中野ふるさとYAMA学校代表の佐藤氏の話では、人為的に植えたものではないということであった。2015年以降の調査で一度も確認ができていなかったため、今後も継続して確認をしていく。また、日和山北側にはハマナスの花壇が整備されている。こちらは中野ふるさとYAMA学校にて整備を行ったものであることが確認された (Fig. 8)。

(宮崎佳彦)